

委員派遣実績報告書

令和元年11月14日

米子市議会議長 様

都市経済委員会

委員長 稲田 清



委員派遣を行い、所管に属する事務に関する先進地事例について調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

委員会名	都市経済委員会
期 日	令和元年11月5日から令和元年11月7日まで
視 察 先 及 び 視察内容	<p>11月5日（火） 山口県宇部市</p> <p>① わたしたちの道づくりサポート事業（うべみちサポート事業、道路照明灯スポンサー事業を含む）</p> <p>② うべ元気ブランド（6次産業）</p> <p>11月6日（水） 佐賀県唐津市</p> <p>① 松浦川河口付近における水辺の回廊整備について</p> <p>11月7日（木） 山口県山口市</p> <p>① 新山口駅拠点施設整備事業</p>
参加者名	<p>【委員長】稲田 清</p> <p>【副委員長】又野史朗</p> <p>【委員】伊藤ひろえ、田村謙介、戸田隆次、前原 茂、矢倉 強</p> <p>【随行】議会事務局 議事調査担当事務局長補佐 森井聖太</p>
経 費	524,840円
委員会 所 感	別紙のとおり

別 紙

山口県宇部市（11月5日）

人口：164,373人

○ わたしたちの道づくりサポート事業（うべみちサポート事業、道路照明灯スポンサー事業を含む）

（1）視察の目的

市道の管理において、市民の協力を得る施策を実施されており、より道路の安全管理等の充実を図る施策を調査するため。

（2）視察（説明）要旨

① わたしたちの道づくりサポート事業は、生活に密着した狭小市道の一部拡幅など、地域特有な要望の工事を行い、問題を解決することを目的とし、工事に必要な材料代や建設機器レンタル料など、1地区に対して年間50万円を上限として市が負担するものである。

② うべみちサポート事業は、地域団体（グループ）に地元の道路を管理してもらうことにより、道路の管理水準の向上を図ることを目的とし、市が指定する道路の路肩部分の草刈りを行うものである。

③ 道路照明灯スポンサー事業は、既設の道路照明灯のうち、多数を占める水銀灯をLED照明灯に転換すること、又は道路照明灯に関する維持費の財源を確保することを目的とし、道路照明灯（LED灯）の新設、更新及び電気代等の維持管理にかかる費用をスポンサー企業が負担するものである。

（3）主な質疑応答

① わたしたちの道づくりサポート事業では、

Q1. 国又は県からの補助はあるのか。

A1. 市の単独事業であり、国又は県からの補助はない。

Q2. 地域により取り組みへの意識の差異はあるのか。

A2. そのような傾向はある。道路管理において、市道全体の状況を勘案して対応している。

② うべみちサポート事業では、

Q1. どのような団体が多いのか。

A 1. 主に自治会である。

Q 2. 財政効果額はどのようなものであるのか。

A 2. 平成30年度は約220万円、令和元年度は約530万円（見込）である。

③ 道路照明灯スポンサー事業では、

Q 1. 水銀灯からLED灯への切り替えにかかる金額はどの程度か。

A 1. 支柱を含め交換する場合は約100万円、電球のみ交換する場合は約8万円である。

Q 2. スポンサーの実績数はどのようなものであるか。

A 2. 令和元年10月1日現在、新設1基、更新14基、維持管理58基である。

（4）視察（説明）要旨に対する委員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

市道の安全管理は重要な施策であることは言うまでもないが、その財源確保のために、市民からの労働力の提供やスポンサー事業を取り入れることを積極的に用いていることは大変参考になった。道路照明灯は、市の予算で賄う街路灯と、地元負担と市の予算で賄う防犯灯があるが、両者とも設置要望があるものの、費用の都合上、全てが設置されているわけではなく、また、防犯灯を街路灯へと移行すべきとの意見もある。特に、防犯対策の強化として、必要な道路照明灯の設置に向けて、本市としても財源確保を強化していく上で大変参考になった。

○ うべ元気ブランド（6次産業）

（1）視察の目的

農産物・水産物の地産外消を促進することによって、地元の農業・漁業の安定及び充実を図る施策を調査するため。

（2）視察（説明）要旨

第一次産業従事者が高齢化し、後継者不足に対する対策が必要とされるため、6次産業化や農商工連携を推進することにより、既存の第一次産業従事者及び新規の第一次産業従事者の生活及び雇用を安定させることを目的とし、宇部市産の農林水産物を使用した加工品を「うべ元気ブランド」

として認証し、販路拡大として展示会出展、広告宣伝、パッケージ開発及び学校給食への活用等の支援をするものである。

(3) 主な質疑応答

Q 1. 6次産業品を認定した上で、どの部分に力点をおいているのか。

A 1. 後継者不足への対策が重要であり、6次産業化にこだわらず、一次産品の生産者と地元の加工業者とのマッチングを第一に心がけている。

Q 2. どの程度の経済効果額があるのか。

A 2. 生産者の自己申告による数値であるが、全体で約2億8,500万円の売上額である。

Q 3. 今後の課題はどのようなものか。

A 3. 平成29年度と30年度を比較すると、全体の6割の商品において売上額が減少している。また、その消費も全体の6割が宇部市内で行われている。このことから、市外・県外への販路を開拓し、売上の増強を図ることが課題である。

(4) 視察（説明）要旨に対する委員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

第一次産業における高齢化対策、後継者不足対策は喫緊の課題である。ただし、その生産者自らが加工し（第二次産業）、販路を開拓していく（第三次産業）ことへの障壁は高く、その連携に行政は尽力しなければならない。まずは、地元にある一次産品からどういった加工商品が可能性があるのかのリサーチと、消費地となる関東圏・関西圏の販路を開拓する支援を、より一層充実させるべきである。本市において、6次産業品はあるものの、残念ながら「米子市を代表する」というレベルにまで成長したものはない。同時に、認証制度でブランド化することも、その商品の価値を高めることに貢献している施策であり、本市としても6次産業化を推進していく上で大変参考になった。

佐賀県唐津市（11月6日）

人口：121,385人

（1）視察の目的

本市では、河川空間及びまち空間のにぎわいを融合させるべく、中海・錦海かわまちづくり計画を策定し、米子港周辺の再整備を計画している。唐津市においても、かわまちづくり支援制度を活用し、松浦川河口付近における水辺の回廊整備を始めており、本市の参考とするため現地視察を行った。

（2）視察（説明）要旨

松浦川河口付近は、歴史・文化とかかわりの深い唐津城もあり、古くから栄え、人口が集中する市街地が形成されている。そのような中、2004年に地元住民が主体となって策定した唐津回遊浪漫都市構想で河口部付近が水辺の回廊ゾーンとして位置付けられた。しかし、川沿いに家屋が立ち並び、水辺に人が近づきにくくなっており、多くの家族連れや観光客が訪れるが、河川利用時の利便性や安全が十分に確保されていない状況となっていた。そこで、かわまちづくり支援事業を活用し、環境整備事業として管理用通路や緑地帯を整備することになった。

本事業においては、2014年に松浦川河口部水辺整備検討委員会を設立し、地域住民や学識経験者、漁協などからなるメンバーで合意形成がなされた。その会議で、既存の遊歩道を延伸し、河口付近を回遊できるように整備することになった。これにより、地域住民にとっては、健康増進のためのウォーキングコースとしての利用、観光客にとっては、周辺の観光スポットである唐津城や虹の松原などへのアクセス向上、また花火大会での視点場としての効果などが期待されている。

（3）主な質疑応答

Q1. 松浦川河口部水辺整備検討会ではどのような意見が出て、何か具体化されたのか。

A1. 当初、遊歩道だけでなく多目的広場などを設置する計画もあったが、検討委員会で、そこまでは必要ないとのことで、遊歩道だけとなった。

Q2. 県からの支援はなかったのか。

A2. 県が行う整備がなかったので、資金面の援助はなかったが、意見を

いただいたりした。

Q 3. 遊歩道について、通路部分が 3 m、緑地が 2 m となっているが、この幅には基準があるのか。

A 3. 基準はない。通路の 3 m は必要な時、車両が通れるようにするために 3 m とした。

Q 4. 商業施設などは考えなかったのか。

A 4. 広い空間の整備がなくなったので、店や商業施設は考えることはできなかった。

Q 5. 水上スポーツの利用促進などはあるか。

A 5. 以前は競艇場があったりしたが、河口付近ということで砂がたまりやすく、競艇場も移動した経緯があり、水上スポーツには向かないと考えている。

(4) 視察（説明）要旨に対する考え及び本市への参考となる点

唐津市では、松浦川河口部水辺整備検討委員会を設立し、6 回の検討会が開催され、地域住民や学識経験者、漁協などから意見を聞き合意形成したとのことであり、市民の意見を取り入れ、多くの市民に利用してもらえるような事業となることを重視しており、本市でも参考になると考える。

また、唐津城や虹の松島といった観光資源や、祭りや花火大会など各種イベントでの活用にも取り組んでおり、本市でも、観光資源やイベントなどと一体的に考えていく点で参考になると考える。

山口県山口市（11月7日）

人口：195,021人

（1）視察の目的

新山口駅においては、既に南北自由通路を整備し、現在、駅周辺のにぎわい創出のため、拠点施設整備事業を進めている。米子駅南北自由通路等整備事業の計画を進めている本市としては、これらの取り組みが参考になると考え、現地視察を行った。

（2）視察（説明）要旨

○ 新山口駅北地区拠点施設整備事業

2005年、山口市が小郡町を含め合併したとき、小郡地区の活性化案を検討していく中で、小郡をビジネスのまちにしていく方針となった。そこで、整備の必要のあった新山口駅北地区を重点エリアとして計画を策定した。用途としては、ホテル、マンション、オフィスビルを中心に考えており、多目的ホールや共同生活をするアカデミーハウス、環境配慮住宅などの整備もする予定。この整備事業は、PFI的手法を活用し、業者選定を行った。

○ 新山口駅ターミナルパーク整備

駅を中心とした交通結節・アクセス機能の強化、陸の玄関にふさわしい快適な駅空間の形成、新山口駅南北の一体化の促進を実現する目的で、南北自由通路と南北の駅前広場の整備を中心とした事業。自由通路は、単に通り返るだけでなく、くつろげる空間とするため、ベンチを設けたりし、昼は弁当を食べる人もいる。イベントを行うことも可能とし、デスティネーションキャンペーンでは販売店の出店があったり、クリスマスにはイルミネーションを設置している。南北の駅前広場の整備では、バス、タクシー、一般車を分離し適正に配置することで、混雑の解消と利便性の向上を図った。

○ JR西日本（株）との調整について

JRからは当初160億円の費用負担の提案があったが、市で補償予備調査をしたところ、120億円の計算になり、JRの提案とかなり開きがあった。その後、国からさらに事業費を縮減するよう要請があり、廃線変

更の中止や自由通路を道路ではなく通路として整備することなどにより、最終的に通路部分 16 億円、駅舎部分 71 億円、合計 88 億円の事業費となった。

(3) 主な質疑応答

Q 1. 総事業費がかなりの金額になるが、その予算はどこからきているのか。

A 1. 合併特例債をこの事業に集中した。

Q 2. 誘致企業で働く人や山口に住みたい人を受け入れるための環境配慮住宅などに入居する際、補助はあるのか。

A 2. 入居の時には補助がある。

Q 3. 新山口駅（小郡）周辺に開発が集中しているようだが、山口駅周辺のほうの不満はないのか。

A 3. 山口駅周辺からの不満はない。元々、合併したとき、小郡の人は市庁舎が小郡のほうにくると思われていたが、そうならず、山口駅のほうに残ったので、小郡地区を開発することになったため。

Q 4. 自由通路はどうして道路ではなく通路にしたのか。

A 4. JR から規制の厳しい道路ではなく、通路でいこうと提案があったこと、費用負担が多少でも安くなったことなどが理由である。

Q 5. 既存の南北自由通路の利用と、自転車の利用はどう検討されたか。

A 5. 既存の南北自由通路はそのまま残し、そこは自転車が通れるため、新しい自由通路は歩行者専用としている。

(4) 視察（説明）要旨に対する考え及び本市への参考となる点

自由通路は単に通るだけだけでなく、幅を広く取り、くつろぎの空間やイベントなどの活用もできるようにしたことは、本市にも参考になるものとする。また、本市でも事業費の縮減が課題であるが、道路ではなく通路としたことなど、様々な検討により事業費を抑えていることは、参考になると考える。

都 市 経 済 委 員 会 行 政 視 察 日 程

◎ 視察先及び調査事項

- (1) 山口県宇部市
 - ① わたしたちの道づくりサポーター事業（うべみちサポーター事業、道路照明灯スポンサー事業を含む）
 - ② うべ元気ブランド（6次産業）
- (2) 佐賀県唐津市
 - ① 松浦川河口付近における水辺の回廊整備について
- (3) 山口県山口市
 - ① 新山口駅拠点施設整備事業
- ◎ 視察者 8名（委員：稲田委員長、又野副委員長、伊藤、田村、戸田、前原、矢倉）（随行者：森井）

月 日	行 程	備 考
11/5 (火)	8:19 米子駅 ……伯耆大山駅 ……岡山駅 ……新山口駅 ……宇部駅 ……琴芝駅 JR 特急やくも 8号 JR 新幹線のぞみ 11号 JR 山陽本線 JR 宇部線	11:57 12:06 12:29 12:48 13:03 昼食：宇部市役所周辺
	◎ 宇部市行政視察（午後2時から1時30分程度） ☎0836-34-8812 [調査内容] ＊わたしたちの道づくりサポーター事業（うべみちサポーター事業、道路照明灯スポンサー事業を含む）、うべ元気ブランド（6次産業）	JR 琴芝駅から徒歩5分 （担当）カワムラ様
	16:17 16:32 16:36 16:46 16:57 17:38 18:02 19:24 琴芝駅 ……宇部駅 ……厚狭駅 ……博多駅 ……唐津駅 JR 宇部線 JR 山陽本線 JR 新幹線 こだま 745号 福岡市地下鉄空港線	
	<唐津駅周辺泊> ホテルロビークー9:30集合出発	
11/6 (水)	◎ 唐津市行政視察（午前10時から1時間30分程度） ☎0955-72-9162 [調査内容] ＊松浦川河口付近における水辺の回廊整備について	JR 唐津駅から徒歩4分 （担当）梅崎様 昼食：唐津駅周辺
	13:10 14:42 15:15 15:50 16:18 16:41 唐津駅 ……博多駅 ……新山口駅 ……山口駅 JR 筑肥線 JR 新幹線 さくら 558号 JR 山口線	
	<山口駅周辺泊> ホテルロビークー9:30集合出発	
11/7 (木)	◎ 山口市行政視察（午前10時から1時間30分程度） ☎083-934-2854 [調査内容] ＊新山口駅拠点施設整備事業	JR 山口駅から徒歩10分 （担当）横沼様 昼食：山口駅 or 新山口駅 周辺
	13:07 13:29 14:46 15:52 16:04 18:16 18:21 山口駅 ……新山口駅 ……岡山駅 ……伯耆大山駅 ……米子駅 JR 山口線 JR 新幹線のぞみ 36号 JR 特急やくも 19号	

